



平成25年度 補助事業実績報告書

平成26年 4月22日

函館市長 工藤 壽樹 様

〒041-0852  
住 所 函館市鍛冶1丁目2-3  
(電話番号) 0138-51-5614  
補助事業者 団体名 函館日韓友好親善協会  
代表者氏名 会長 福島 憲 成

補助事業の名称 韓国高陽市での姉妹都市交流事業

平成26年3月 5日付け函企国をもって補助金の交付の決定を受けた上記の補助事業は、平成26年 3月31日完了したので、関係書類を添えて報告します。

補助金交付決定通知額	金	150,000円
補助金領収済額	金	150,000円
補助金等領収未済額	金	0円

(注) 1. この様式は、国際交流団体等が規則別表(1)から(4)までおよび(6)に掲げる補助金の実績報告をする場合に使用すること。

共通第3号様式（第3条第2項，第13条第2項）

補助事業実績書

補助事業の名称	韓国高陽市での姉妹都市交流事業
実施期間・期日	平成26年3月24日～平成26年3月27日
実施場所	韓国 高陽市
主催者・共催者 および後援者等	函館日韓友好親善協会
事業者の概要	設立年月日 昭和51年11月
	構成人数 36名
事業者の概要	団体の目的・主な事業
	目的：両国の市民レベルでの友好促進と交流の発展を図る 事業：（1）経済・教育等各分野における交流および情報交換 （2）講習会・講演会等の開催 （3）相互交流促進に関する事業 （4）在日韓国民との融和連携に関する事業 （5）その他必要な事業
参加人数	函館市3人，高陽市 32人
	うち外国人参加人数 32人
補助事業の内容	（具体的に記入すること） 当会会員および演奏家（当市を代表するトラベリングバンド「ひのき屋」）を高陽市に派遣し，高陽市に派遣し高陽市の学生と音楽交流を行った。また，韓国高陽市文化協会関係者および教育関係者との懇談会および交流会を実施し，今後の交流事業のあり方について，協議を進めることができた。
補助事業実施による効果	当該事業の実施により，姉妹都市である高陽市との民間レベルでの交流促進が図られたほか，特に高陽市文化団体との懇談において，今後における両市文化交流のより一層の推進が確認された。 また，文化団体関係者との懇談では，音楽関係者との交流事業の提案がなされ，本年10月にも実施の運びとなるなど，具体的な成果をあげることができた。
備考	

- （注） 1. この様式は，国際交流団体等が規則別表(1)から(4)までおよび(6)に掲げる補助金の実績報告をする場合に使用すること。  
2. 主催者，共催者および後援者等については，それぞれ具体的に記入すること。  
3. 補助事業の内容は，具体的にかつ詳細に記載すること。（別紙でも可）

共通第4号様式（第3条第2項，第13条第1項）

補助事業収支決算書

収入の部

(単位：円)

項 目	本年度予算額	本年度決算額	増 減	備 考
自己資金	346,000	337,260	△8,740	
函館市補助金	150,000	150,000	0	
合 計	496,000	487,260	△8,740	

支出の部

項 目	本年度予算額	本年度決算額	増 減	備 考
記念品	30,000	22,260	7,740	
旅費滞在費	391,000	330,000	61,000	
交流経費	75,000	135,000	△60,000	
合 計	496,000	487,260	8,740	

収支差引額 0 円

- (注)
1. この様式は、国際交流団体等が規則別表(1)から(4)までおよび(6)に掲げる補助金の実績報告をする場合に使用すること。
  2. 収入の部・支出の部別葉でも可。
  3. この様式では項目と金額のみを記入し、項目ごとの積算内訳等詳細については別添の「決算額内訳一覧」に記入し提出すること。

共通第4号様式別添

決算額内訳一覧

(収入の部)

(単位：円)

項 目	本年度決算額	積算内訳	備 考
自己資金	337,260	当協会からの繰入金 337,260 円	
函館市補助金	150,000	函館市国際交流事業活動補助金 @50,000×3人=150,000 円	
合 計	487,260		

- (注) 1. この様式は、共通第4号様式「収支決算書」を説明する添付書類として必ず提出すること。  
この様式に準じたものでも可。
2. 収入の部・支出の部それぞれ作成すること。
3. 積算額内訳欄には、具体的内容と金額の算出基礎等を詳細に記入すること。

決算額内訳一覧

(支出の部)

(単位：円)

項 目	補年度決算額	積算内訳	備 考
記念品	22,260	記念品 22,260円	
旅費滞在費	330,000	千歳～高陽往復移動費（航空賃等） 54,000円×3名=162,000円 宿泊費 ・高陽市 15,000円×2泊×3人=90,000円 ・千歳市 9,000円×1泊×3人=27,000円 函館市内～千歳市内往復移動費 17,000円×3名=51,000円	
交流経費	135,000	移動車両費(チャーター料) 30,000円 通訳手配(2日間) 30,000円 現地交流会食代(民団手配) 75,000円 ・交流会(伝統文化センター関係者) 韓国側出席者 @5,000×5人=25,000円 ・交流会(市民会館関係者) 韓国側出席者 @5,000×5人=25,000円 ・交流会(文化団体関係者) 韓国側出席者 @5,000×5人=25,000円	
合 計	487,260		

- (注) 1. この様式は、共通第4号様式「収支決算書」を説明する添付書類として必ず提出すること。  
この様式に準じたものでも可。  
2. 収入の部・支出の部それぞれ作成すること。  
3. 積算額内訳欄には、具体的内容と金額の算出基礎等を詳細に記入すること。